

1 準備

チューブカッターとサイズに合った取付工具をご用意ください。



(参考)

- ① チューブカッターにはチューブサイズに合わせて、TC01、TC04、HC03を推奨します。適用チューブサイズは【表1】を参照ください。
- ② プッシュワン各シリーズのねじ部にはシール加工が施しており、シールテープは不要です。

注意 チューブカッターを使用しない時は、刃先を広げたまにしないでください。

注意 継手とチューブは、配管状況の仕様を満足することをご確認ください。製品の選定を誤ると非常に危険な場合があります。

【表1】チューブカッター適用チューブサイズ

チューブカッター 品番	適用チューブ 外径サイズ (mm)
TC01	~13 (1/2inch)
TC04	~16 (5/8inch)
HC03	~20 (3/4inch)

2 継手の取付け (再取付け)

継手は、サイズに合った取付工具を用いて【表2】の推奨締付トルク範囲内で締め付けてください。



(参考)

- ① シール加工は通常、2~3回の再使用が可能です。
- ② シール加工の効果がなくなった場合は、シール加工部分の上からシールテープを巻いて使用してください。シールテープは、ねじ部を1~2山空け、巻き方向に注意して2~2.5回転させてください。



注意 六角穴付コネクタを六角棒スパナを用いて取り付ける場合は、継手内のロックリング部やチューブシール部分に触れないようにしてください。チューブ抜けや漏れの原因となります。

注意 Mねじは、締め込みすぎるとねじ部の折れやガスケットの変形により、漏れの原因となります。必ず推奨締付トルクで締め付けてください。

注意 継手を再度取り付ける場合は、シール加工部分のシール材が配管内に混入しないよう注意してください。

【表2】プッシュワンシリーズ推奨締付トルク

ねじサイズ (JIS B 0205 : 2001) (JIS B 0203 : 1999)	推奨締付トルク (N・m)
M3	0.7
M5	1.2
M6	2.0
R1/8	3.0~5.0
R1/4	7.0~9.0
R3/8	18.0~20.0
R1/2	20.0~22.0

3 チューブの切断

チューブカッターで、直角に切断してください。チューブの切断前にチューブ表面の汚れを拭き取り、へこみや傷、つぶれがないものを選定してください。



注意 チューブ切断部分に汚れ、へこみ、傷、つぶれ、バリ、毛羽立ちなどがないようにカットしてください。また、チューブを斜めに切断しないでください。チューブ挿入時に継手のシール部分を傷つけ、漏れの原因となります。

4 チューブの接続・完了

チューブを継手の奥に当たるまで、真っ直ぐ確実に挿入してください。挿入後、チューブを軽く引っ張り、チューブが抜けないことを確認してください。

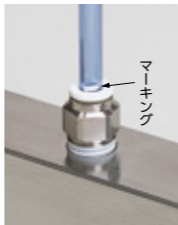


(参考)

- ① チューブ挿入長さは、【表3】に記載しています。参考になしてください。

② 確実にチューブが挿入されたことを確認するには、チューブ挿入長さ部分のマーキングをしてから挿入してください。チューブ挿入長さは、【表3】を参考にしてください。挿入長さマーキング位置がリリーススリーブ端面にあり、軽く引っ張ってチューブが抜けなければチューブ接続は完了です。

③ プッシュワンEシリーズのミリ・インチの区別は、リリーススリーブの刻印(チューブサイズ)、リリーススリーブ色(ミリ:青色、インチ:白色)で識別しています。(但し、φ8とφ5/16はリリーススリーブ金型を共有(両サイズ刻印)しているため、リリーススリーブ色で識別してください。)



注意 奥まで確実に挿入されていない場合は、チューブ抜けや漏れなどの原因となります。

注意 当社以外のチューブを接続する場合は、チューブの外径公差が【表4】の寸法公差内にあることをご確認ください。寸法公差を満足していない場合、漏れなどの原因となります。

【表3】プッシュワンシリーズチューブ挿入長さ

プッシュワン シリーズ	適用チューブ 外径サイズ (mm)	チューブ挿入長さ (mm)
プッシュワンAシリーズ ミニタイプ	3	11
	4	11.5
	6	12.5
プッシュワンAシリーズ プッシュワンEシリーズ	4	13
	6	15
	8	16
	10	19
	12	20
	16	27
	6.35 (1/4inch)	15
	7.94 (5/16inch)	16
	9.53 (3/8inch)	19
	12.70 (1/2inch)	21

【表4】適用チューブ外径公差

チューブ材質	チューブ外径公差 (mm)
ポリウレタンチューブ	±0.1
ナイロンチューブ	±0.1

5 チューブの取外し

チューブを継手の奥まで再度押し込み、リリーススリーブを両指で均等に押し付けたまま、ねじらずに真っ直ぐに引き抜いてください。



注意 チューブを継手の奥へ押し込まず、リリースの押し込みが不十分な状態でチューブを引っ張ったりねじったりすると、チューブが抜けなくなることがあります。

注意 チューブの取り外しを行う場合は必ずチューブ内の圧力をゼロにしてください。

6 チューブの再取付け

[3. チューブの切断]からもう一度繰り返してください。一旦取り外したチューブを再度取り付ける場合は、先端部分の爪が食い込んだ箇所を切り落としてください。また、チューブ表面に汚れ、へこみ、傷、つぶれなどがないことを確認してください。

注意 内圧や熱などにより、チューブ内外径に変化がある場合はチューブも新品と交換してください。